

クセになる。八尾の人、まち、自然、うまいもん

Yaomania

【ヤオマニア】Vol.15 2016年・夏増刊号



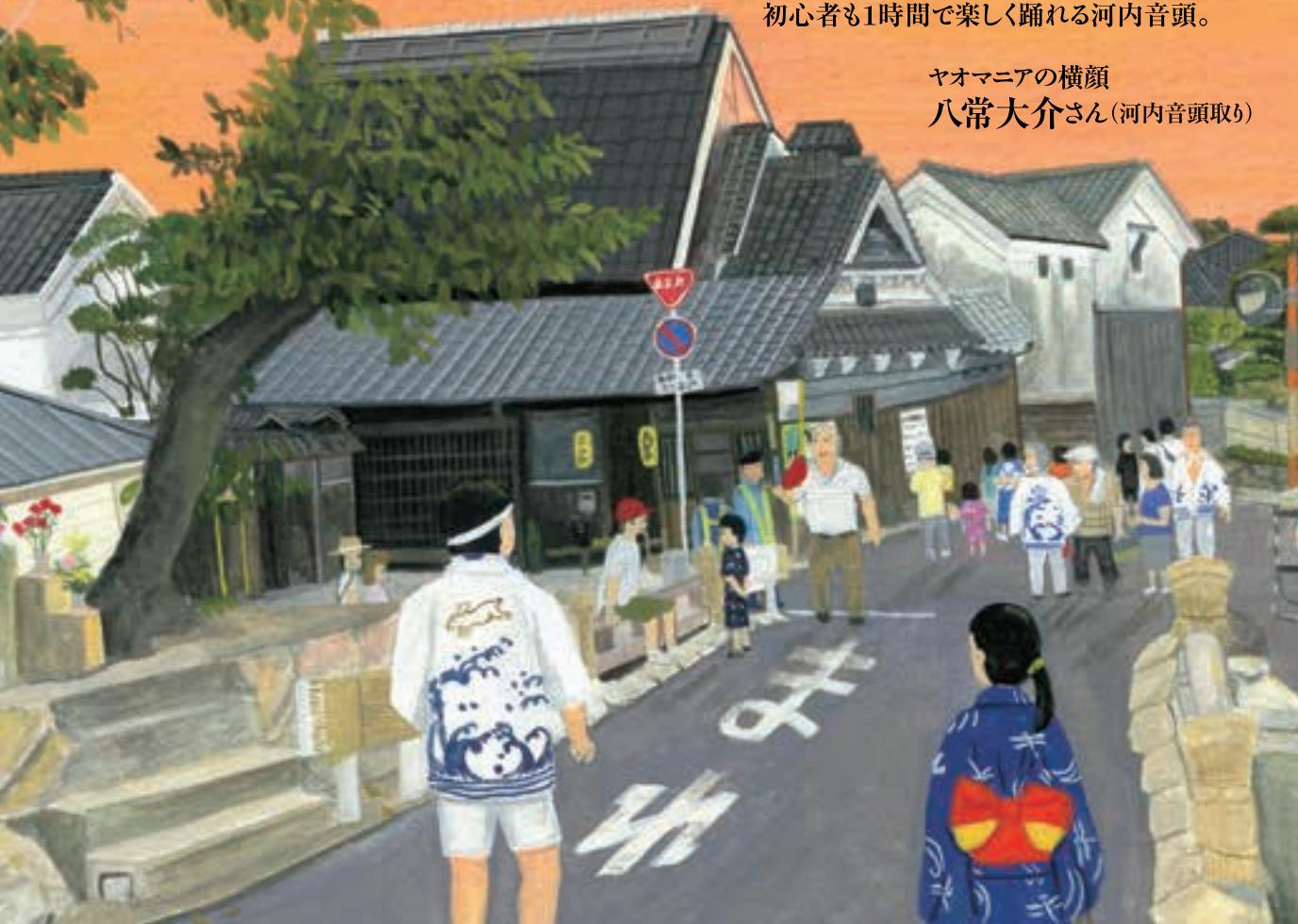
ここを見てくれ、夏祭。

祭りの当事者たちが「見どころ」を語る。

夏祭りのご馳走と、祭りで寄りたい店。

初心者も1時間で楽しく踊れる河内音頭。

ヤオマニアの横顔
八常大介さん(河内音頭取り)



Yaomania

Vol.15 夏増刊号 2016年7月1日発行 発行(一社)八尾市観光協会

八尾市北本町2-1 ペントプラザ20号

072-997-6226

編集 140B 定価 0円 Printed in japan

9



第39回八尾河内音頭まつり

今年で第39回目を迎える八尾河内音頭まつりは、平成28年9月11日(日)に久宝寺緑地で開催いたします。多くの方にご来場いただくため、八尾河内音頭まつりPR大使を任命しました。

八尾河内音頭まつりPR Tシャツを着てまつりへ行こう!!



○販売価格 各1,700円(税込)

○色:白・黒・ワインレッドの3色

○サイズ:各色S~4Lの6サイズ

○販売先

株式会社 タケヒロヤ

八尾市本町5-5-25

※ファミリーロードさのかわ南通

072-922-4781

9:30~19:00

毎週水曜日定休日

☆八尾市観光案内所でも販売

八尾市北本町2-1 ペントプラザ20号

近鉄八尾駅高架下

072-997-6226

10:00~18:00

『第39回 八尾河内音頭まつり開催概要』

※陸上競技場

○河内音頭グランプリ 12:00~15:00

○河内音頭大盆踊り大会 16:00~20:30

○マルシェdeオンド 11:00~20:00

※軟式野球場

○吹奏楽 10:00~13:30

○ダンスコンテスト 14:30~18:30

○リサイクルフェア 10:30~16:00



シャトルバス運行スケジュール

近鉄八尾駅バスターミナル 午前8時30分~午後8時

10分間隔で出発 アリオ八尾経由(高速車のみ)

会場(久宝寺緑地) 午前8時50分~午後9時35分

30分間隔で出発

地下鉄八尾南駅 午前9時35分~午後8時05分

(スケジュールは予定です)

主催・お問い合わせ
八尾河内音頭まつり振興会
072-994-5741



高安祭り

(神立・樂音寺・大竹・水越・千塚・
大窪・山畑・服部川・郡川・黒谷・垣内)
7月16日(土)・17日(日)

高安山が1年の中で最もぎやかになる祭り。
11地区の巡行風景が里山の自然や旧い街並みに溶け込む美しさがある。

取材・文=きむあつこ

やまんねきの夏は
ここからはじまる。

高安祭りは玉祖神社の年中行事として
11か村で巡行される、やまんねき(山麓)のお祭りです。まず見

ていただきたいのが本宮の朝9時、境内で行うお祓い

益があるということでお連子舞が出てきて小さい子ども

の頭を噛むんです。ご利用のお母さんがたくさん来

られますね。太鼓台と神輿

が本殿前を3周してから宮出します。

巡行した後、午後4時半すぎに服部川交差点付近で4台(大窪・山畑・服部

川・郡川)の太鼓台によるかき合いが行われます。そして最も熱くなるのが「松の馬場」と呼ばれる一の鳥居前で行う、太鼓台のかき比べです。

午後7時15分から5台(神立・樂音

寺・大竹・水越・千塚)の太鼓台が各5分の持ち時間の中、どれだけ勇壮に

美しく持ち上げるかを競う。FMちや

かき比べを計3回行つた後、玉祖神社参道のすごい上り坂を、太鼓台を引いて帰ります。大阪平野のきれいな夜景

おの実況中継でさらに盛り上がりります。
かき比べを計3回行つた後、玉祖神社参道のすごい上り坂を、太鼓台を引いて帰ります。大阪平野のきれいな夜景

もまた見どころで、癒やされますよ。



気勢を上げる千塚の布団太鼓。「松の馬場」前の交差点は見物客でぎっしりだ
(写真=内池秀人)



本間隆浩さん
(水越青年団幹事/左)
清水一郎さん
(玉祖会相談役)

两者、無類の太鼓台好きで担ぎ手として各地の祭りにも参加。
「枚岡の祭りや兵庫県の三木や西宮など、3月から10月まではどこかの祭りで担いでいます。秋祭りが終わると寂しい」



玉祖神社の境内で見事な担ぎ上げを見せる神輿と神立・水越の布団太鼓(写真=牧江良祐)

にぎやかな境内への 宮入を見ないと!

渋川神社に宮入するのは大小11の太鼓台と神輿、だんだりです。宵宮、本宮両日の午前9時頃から村の人たちに見守られながら宮出し、7地区を巡行します。夜9時になると、子ども会の太鼓台、神輿から宮入りし、その後青年団の太鼓台へと続きますが、祭りの2日間は境内に夜店がずらりと並び、人々でたくさん集まるのでとてもぎやか。そんな中を宮入するんですから、ここが一番の見どころですね。

宵宮では太鼓台が境内を3往復と少々加減していますが、本宮は「いつてまえ」と10往復ぐらいします。11時半頃には終りますが、昔は日付が変わるものまで担いでいたそうです。お客様さんはすぐ近くで見られるので迫力満点。一時衰退していた祭りを復活させたので、地域の行事として伝承すべく日々から青少年育成にも力を入れています。村の青年たちの躍動する姿を応援してほしいですね。

渋川神社

(植松東・植松西・植松・
安中・新植松・永畠・陽光園)
7月25日(月)・26日(火)

2016 夏祭りスケジュール①

● 7/2(土)・3(日)
教興寺まつり
■ まくら太鼓
■ 神輿のみ

● 7/16(土)・17(日)
八尾神社
■ 本町
■ 教興寺
● 7/9(土)・10(日)
植本神社
■ 北木の本子ども会
■ 教興寺

● 7/10(日)
穴太神社
■ 宮町(子どもだんじり)
■ ふとん太鼓
■ だんじり

● 7/17(日)
八尾木西第2町会夏祭り
■ まくら太鼓
■ 神輿のみ

● 7/23(土)
八王子神社
■ 神宮寺
● 7/23(土)
八尾木不丁目
■ まくら太鼓
■ 神輿のみ

● 7/18(祝)・19(火)
許麻神社
■ 境内
■ 郡川(牛頭天王社)
■ 水越(都夫久美神社)
■ 大竹(賀茂神社)
■ 千塚
■ 山畑(佐麻多度神社)
■ 大窪(牛頭天王社)
■ 黒谷(熊野権現社)

● 7/23(土)
渋川天神社
■ 渋川町
● 7/23(土)
此枝神社
■ 相生町



植松東青年団の法被



露店が並び見物客でにぎわう中、植松東の宮入りのこの迫力!(写真=内池秀人)



阿比留さん(下)も高砂さんも、
祭り当日はこのようなお顔に

阿比留信一さん(植松東布団太鼓保存会前会長/左)
祭りが人生のすべてと語る。「太鼓台を出せない悔しい時代を経験したので、保存会メンバーと共にやってきた結果、今の活気が戻ったのだと思います」

高砂宗希さん(植松東布団太鼓保存会現会長)
「44歳、祭りのキャリア43年。中学の時から棒端(ぼうばな、担い棒の一番前)にいます。毎年、祭りのカレンダーも制作している。」

● 7/16(土)・17(日)	八尾木西第2町会夏祭り
● 7/23(土)	八王子神社
● 7/23(土)	八尾木不丁目
● 7/23(土)	許麻神社
● 7/23(土)	此枝神社
● 7/23(土)	渋川天神社
● 7/23(土)	渋川町
● 7/23(土)	大窪(牛頭天王社)
● 7/23(土)	黒谷(熊野権現社)
● 7/23(土)	郡川(牛頭天王社)
● 7/23(土)	水越(都夫久美神社)
● 7/23(土)	大竹(賀茂神社)
● 7/23(土)	千塚
● 7/23(土)	山畑(佐麻多度神社)
● 7/23(土)	大窪(牛頭天王社)
● 7/23(土)	黒谷(熊野権現社)
● 7/23(土)	郡川(牛頭天王社)
● 7/23(土)	水越(都夫久美神社)
● 7/23(土)	大竹(賀茂神社)
● 7/23(土)	千塚
● 7/23(土)	山畑(佐麻多度神社)
● 7/23(土)	大窪(牛頭天王社)
● 7/23(土)	黒谷(熊野権現社)
● 7/23(土)	郡川(牛頭天王社)
● 7/23(土)	水越(都夫久美神社)
● 7/23(土)	大竹(賀茂神社)
● 7/23(土)	千塚
● 7/23(土)	山畑(佐麻多度神社)
● 7/23(土)	大窪(牛頭天王社)
● 7/23(土)	黒谷(熊野権現社)
● 7/23(土)	郡川(牛頭天王社)
● 7/23(土)	水越(都夫久美神社)
● 7/23(土)	大竹(賀茂神社)
● 7/23(土)	千塚
● 7/23(土)	山畑(佐麻多度神社)
● 7/23(土)	大窪(牛頭天王社)
● 7/23(土)	黒谷(熊野権現社)
● 7/23(土)	郡川(牛頭天王社)
● 7/23(土)	水越(都夫久美神社)
● 7/23(土)	大竹(賀茂神社)
● 7/23(土)	千塚
● 7/23(土)	山畑(佐麻多度神社)
● 7/23(土)	大窪(牛頭天王社)
● 7/23(土)	黒谷(熊野権現社)
● 7/23(土)	郡川(牛頭天王社)
● 7/23(土)	水越(都夫久美神社)
● 7/23(土)	大竹(賀茂神社)
● 7/23(土)	千塚
● 7/23(土)	山畑(佐麻多度神社)
● 7/23(土)	大窪(牛頭天王社)
● 7/23(土)	黒谷(熊野権現社)
● 7/23(土)	郡川(牛頭天王社)
● 7/23(土)	水越(都夫久美神社)
● 7/23(土)	大竹(賀茂神社)
● 7/23(土)	千塚
● 7/23(土)	山畑(佐麻多度神社)
● 7/23(土)	大窪(牛頭天王社)
● 7/23(土)	黒谷(熊野権現社)
● 7/23(土)	郡川(牛頭天王社)
● 7/23(土)	水越(都夫久美神社)
● 7/23(土)	大竹(賀茂神社)
● 7/23(土)	千塚
● 7/23(土)	山畑(佐麻多度神社)
● 7/23(土)	大窪(牛頭天王社)
● 7/23(土)	黒谷(熊野権現社)
● 7/23(土)	郡川(牛頭天王社)
● 7/23(土)	水越(都夫久美神社)
● 7/23(土)	大竹(賀茂神社)
● 7/23(土)	千塚
● 7/23(土)	山畑(佐麻多度神社)
● 7/23(土)	大窪(牛頭天王社)
● 7/23(土)	黒谷(熊野権現社)
● 7/23(土)	郡川(牛頭天王社)
● 7/23(土)	水越(都夫久美神社)
● 7/23(土)	大竹(賀茂神社)
● 7/23(土)	千塚
● 7/23(土)	山畑(佐麻多度神社)
● 7/23(土)	大窪(牛頭天王社)
● 7/23(土)	黒谷(熊野権現社)
● 7/23(土)	郡川(牛頭天王社)
● 7/23(土)	水越(都夫久美神社)
● 7/23(土)	大竹(賀茂神社)
● 7/23(土)	千塚
● 7/23(土)	山畑(佐麻多度神社)
● 7/23(土)	大窪(牛頭天王社)
● 7/23(土)	黒谷(熊野権現社)
● 7/23(土)	郡川(牛頭天王社)
● 7/23(土)	水越(都夫久美神社)
● 7/23(土)	大竹(賀茂神社)
● 7/23(土)	千塚
● 7/23(土)	山畑(佐麻多度神社)
● 7/23(土)	大窪(牛頭天王社)
● 7/23(土)	黒谷(熊野権現社)
● 7/23(土)	郡川(牛頭天王社)
● 7/23(土)	水越(都夫久美神社)
● 7/23(土)	大竹(賀茂神社)
● 7/23(土)	千塚
● 7/23(土)	山畑(佐麻多度神社)
● 7/23(土)	大窪(牛頭天王社)
● 7/23(土)	黒谷(熊野権現社)
● 7/23(土)	郡川(牛頭天王社)
● 7/23(土)	水越(都夫久美神社)
● 7/23(土)	大竹(賀茂神社)
● 7/23(土)	千塚
● 7/23(土)	山畑(佐麻多度神社)
● 7/23(土)	大窪(牛頭天王社)
● 7/23(土)	黒谷(熊野権現社)
● 7/23(土)	郡川(牛頭天王社)
● 7/23(土)	水越(都夫久美神社)
● 7/23(土)	大竹(賀茂神社)
● 7/23(土)	千塚
● 7/23(土)	山畑(佐麻多度神社)
● 7/23(土)	大窪(牛頭天王社)
● 7/23(土)	黒谷(熊野権現社)
● 7/23(土)	郡川(牛頭天王社)
● 7/23(土)	水越(都夫久美神社)
● 7/23(土)	大竹(賀茂神社)
● 7/23(土)	千塚
● 7/23(土)	山畑(佐麻多度神社)
● 7/23(土)	大窪(牛頭天王社)
● 7/23(土)	黒谷(熊野権現社)
● 7/23(土)	郡川(牛頭天王社)
● 7/23(土)	水越(都夫久美神社)
● 7/23(土)	大竹(賀茂神社)
● 7/23(土)	千塚
● 7/23(土)	山畑(佐麻多度神社)
● 7/23(土)	大窪(牛頭天王社)
● 7/23(土)	黒谷(熊野権現社)
● 7/23(土)	郡川(牛頭天王社)
● 7/23(土)	水越(都夫久美神社)
● 7/23(土)	大竹(賀茂神社)
● 7/23(土)	千塚
● 7/23(土)	山畑(佐麻多度神社)
● 7/23(土)	大窪(牛頭天王社)
● 7/23(土)	黒谷(熊野権現社)
● 7/23(土)	郡川(牛頭天王社)
● 7/23(土)	水越(都夫久美神社)
● 7/23(土)	大竹(賀茂神社)
● 7/23(土)	千塚
● 7/23(土)	山畑(佐麻多度神社)
● 7/23(土)	大窪(牛頭天王社)
● 7/23(土)	黒谷(熊野権現社)
● 7/23(土)	郡川(牛頭天王社)
● 7/23(土)	水越(都夫久美神社)
● 7/23(土)	大竹(賀茂神社)
● 7/23(土)	千塚
● 7/23(土)	山畑(佐麻多度神社)
● 7/23(土)	大窪(牛頭天王社)
● 7/23(土)	黒谷(熊野権現社)
● 7/23(土)	郡川(牛頭天王社)
● 7/23(土)	水越(都夫久美神社)
● 7/23(土)	大竹(賀茂神社)
● 7/23(土)	千塚
● 7/23(土)	山畑(佐麻多度神社)
● 7/23(土)	大窪(牛頭天王社)
● 7/23(土)	黒谷(熊野権現社)
● 7/23(土)	郡川(牛頭天王社)
● 7/23(土)	水越(都夫久美神社)
● 7/23(土)	大竹(賀茂神社)
● 7/23(土)	千塚
● 7/23(土)	山畑(佐麻多度神社)
● 7/23(土)	大窪(牛頭天王社)
● 7/23(土)	黒谷(熊野権現社)
● 7/23(土)	郡川(牛頭天王社)
● 7/23(土)	水越(都夫久美神社)
● 7/23(土)	大竹(賀茂神社)
● 7/23(土)	千塚
● 7/23(土)	山畑(佐麻多度神社)
● 7/23(土)	大窪(牛頭天王社)
● 7/23(土)	黒谷(熊野権現社)
● 7/23(土)	郡川(牛頭天王社)
● 7/23(土)	水越(都夫久美神社)
● 7/23(土)	大竹(賀茂神社)
● 7/23(土)	千塚
● 7/23(土)	山畑(佐麻多度神社)
● 7/23(土)	大窪(牛頭天王社)
● 7/23(土)	黒谷(熊野権現社)
● 7/23(土)	郡川(牛頭天王社)
● 7/23(土)	水越(都夫久美神社)
● 7/23(土)	大竹(賀茂神社)
● 7/23(土)	千塚
● 7/23(土)	山畑(佐麻多度神社)
● 7/23(土)	大窪(牛頭天王社)
● 7/23(土)	黒谷(熊野権現社)
● 7/23(土)	郡川(牛頭天王社)
● 7/23(土)	水越(都夫久美神社)
● 7/23(土)	大竹(賀茂神社)
● 7/23(土)	千塚
● 7/23(土)	山畑(佐麻多度神社)
● 7/23(土)	大窪(牛頭天王社)
● 7/23(土)	黒谷(熊野権現社)
● 7/23(土)	郡川(牛頭天王社)
● 7/23(土	

どの太鼓台も喜んで担ぎますよ。

万願寺夏まつりは4台の太鼓台を1

つの青年団と4つの保存会が團結し、各地域を巡行し、3つの神社に奉納します。少子化で担ぎ手の少なくなった

青年団の負担軽減のため、3年前に「万願寺夏まつり実行委員会」を発足。

宵宮は午後4時頃から山本青果市場前で4台が勢揃いし、順次担ぎ上げが

行われます。本宮は午後4時すぎから東山本公民館前に4台が集結し、1台ずつが約50mの距離を3往復します。

クラッカーを鳴らしたり、「チヨーサージョーヨイヤー サージョー」と掛け声を上げるなど、とても盛り上がる場面。担ぎ手は團結をモットーに、自分どころだけではなく、ほかの保存会の太鼓台も担ぎます。時代と共にスタイルは変わっても、祭りを伝承し、地域を盛り上げたいという気持ちは変わりません。熱い思いを見てください。



山本正昭さん
(万願寺夏まつり実行委員長)

地元・新家の太鼓台新調に尽力(最前列左から三番目)。「3年前、肩を痛めて4か月間腕が上がらないまま祭りを迎えたんですが、無理して太鼓を叩いたら、いつの間にか肩が元通りに。祭りはやめられません」。実行委員会発足時の面々。

弓削神社

(弓削町)
7月30日(土)・31日(日)

走る、やり合う。
見どころ満載です。

激しさは八尾でも、「二を争う『喧嘩祭り』として有名。JR志紀駅に近く、普段は静かな弓削神社の社が熱狂する。取材・文=きむあつこ



上／弓削神社で神輿が氣勢を上げ、奥では布団太鼓が待ち構える。右／やっとのことで、神輿が神殿に収められる! 左／木瓜(もっこり)紋に裾柄は菊水、臍脂の法被が弓削町のシンボルだ

上／弓削神社で神輿が氣勢を上げ、奥では布団太鼓が待ち構える。右／やっとのことで、神輿が神殿に収められる! 左／木瓜(もっこり)紋に裾柄は菊水、臍脂の法被が弓削町のシンボルだ

上田哲夫さん
(総代表)

経営する会社に太鼓台のミニチュアを飾るなど、根っからの祭りびと。小学生の頃、祭りと林間学習が重なり、躊躇なく祭りに出ることに。親にその旨を告げると、そやな、のひと言でした(笑)」



※布団太鼓の巡行路。神輿は二俣へも巡行

夏祭りスケジュール②	
● 7/24(日)	八尾天満宮
● 7/24(日) 25(月)	やまと子供会(本町)
● 7/25(月) 26(火)	本町
● 7/25(月)	安中ひまわり子供会(安中町)
● 7/25(月)	安中地域青年団(安中町)
● 7/25(月)	安中ばら子供会(安中町)
● 7/25(月)	仲よし子供会(植松町)
● 7/25(月)	植松西子供会
● 7/25(月)	新植松・旭園(南植松町)
● 7/25(月)	永畑つばさ子供会(永畠町)
● 7/25(月)	植松東子供会
● 7/25(月)	陽光園あやめ子供会(陽光園)
● 7/30(土)	万願寺北(式部御野・御領・万願寺南・新家)
● 7/30(土)	天王寺屋
● 7/30(土) 31(日)	永畑つばさ子供会(永畠町)
● 7/30(土) 31(日)	万願寺夏まつり(東山本町)
● 7/30(土)	稻生神社
● 7/30(土) 31(日)	別宮成法寺・今井(南本町)
● 7/31(日)	御領・万願寺中(八幡神社)
● 7/31(日)	高美町4丁目子供会
● 8/1(月)	万願寺南・新家(住吉神社)
● 8/1(月)	東郷夏祭り・長柄神社跡(矢作神社)
● 8/1(月)	東本町・東郷夏祭り・保存会
● 8/1(月)	神劍神社・老原(南老原)
● 8/1(月)	御劍神社・老原(東老原)
● 8/1(月)	杵築神社・弓削町
● 8/1(月)	矢作神社
● 8/1(月)	八坂神社
● 8/1(月)	東郷夏祭り・長柄神社跡(矢作神社)
● 8/1(月)	東本町・東郷夏祭り・保存会
● 8/1(月)	神劍神社・老原(南老原)
● 8/1(月)	御劍神社・老原(東老原)
● 8/1(月)	杵築神社・弓削町
● 8/1(月)	矢作神社
● 8/1(月)	八坂神社
● 8/1(月)	恩智神社・弓削町
● 8/1(月)	西フレンド子供会夏祭り
● 8/1(月)	二俣天王寺
● 8/1(月)	二俣夏祭り・二俣天王寺
● 8/1(月)	太陽の広場ふれあいまつり
● 8/1(月)	堤町・緑ヶ丘

万願寺夏まつり

(万願寺北・御領・万願寺南・新家)
7月30日(土)・31日(日)

東山本町にある青年団(応援色会)や保存会が團結し、新しいスタイルで祭りを継承している。本宮後、各神社での宮入が見どころ。

取材・文=きむあつこ



上／4台の太鼓台が並ぶ様子。
その前は青年団たち 右／万
願寺北(式部)、御領、万願寺
南、新家の4地区の法被



巡回する万願寺南の太鼓台



2016祭と河内音頭見どころ満載MAP

地図=マップデザイン研究室

- ふとん太鼓
- だんじり
- まくら太鼓
- 神輿のみ
- 河内音頭・盆踊り

※夏祭りはP2~7を、
河内音頭はP12をご覧ください。
秋祭りは次号で掲載します。

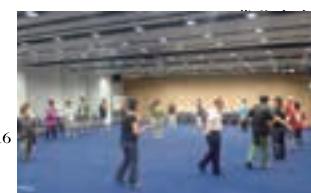


「河内音頭踊り講座」受講生を募集します!

第39回八尾河内音頭まつりのメインイベントである「河内音頭グランプリ」に登場してみませんか? 「出てみたい」「だれかと一緒に」と考えておられる方、ぜひ受講してください。河内音頭の踊り方は数多くありますが、河内音頭の基本である「手踊り」を中心に実施します。

日時/8.17(水)・23(火)・31(水)の全3回 19:00から約1時間 会場/八尾商工会議所会館3F大ホール(八尾市清水町1-1-6) 定員/50名(※応募者多数の場合は抽選となります) 参加費/無料申込方法/市役所本館1階総合案内室、八尾市各出張所にある所定の申込書に必要事項に記入の上、下記申込先へご持参を。または八尾河内音頭まつり振興会ホームページからダウンロードして、メールでお送りください。 申込先/八尾河内音頭まつり振興会振興会事務局(八尾市産業政策課魅力創造課)八尾市清水町1-1-6 八尾商工会議所会館内 ☎072-994-5741 miryokusouzou@city.yao.osaka.jp 締切/8.10(水)必着

※本講座受講後は、9.11(日)に開催される「第39回八尾河内音頭まつり」の河内音頭グランプリに出場する「一般市民連」に参加いただきます(フリー部門での出場)。河内音頭グランプリ出場に際し、ハッピーフラッシュを貸し出しいたします。



1999年「はっぴ展」の様子。この時に負けないよう「本物感」が出るような演出を考えているそう



17年目を迎えた
「祭まっぷ」と「はっぴ展」リターンズの朗報。

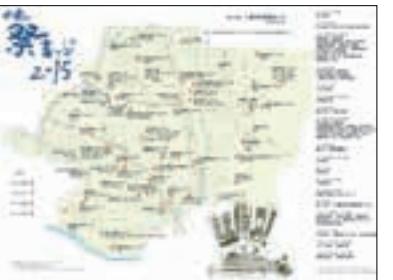
高知県から八尾に住むようになったケアマネージャーの中辻えり子さんは、布団太鼓を見て八尾の祭りにハマってしまった。それに終わらず、好きがこうじて「ふとん太鼓の祭り」の絵地図を作ったのが1998年。99年には祭り好きの仲間と実行委員会を立ち上げ、八尾市役所市民ロビーで116種類もの法被を集めた「はっぴ展」を開催した。高い天井を埋め尽くすほんまほんの法被が競演する会場は、さぞ華やかでいなせな雰囲気だったろう。

実行委員会ではその翌年(2000年)から『やおの祭りまっぷ』を夏と秋の2冊制作し、祭り好きを一人でも多く増やそうと夏が来るたびに市内を東奔西走している。今回で17回目。2016年版もたぶん本誌と同時に配布されるだろうから、楽しみ。

そして、あの「はっぴ展」も帰ってくる。ただし、本物は祭りの最中だったりもするし、もしものことがあったら大変なので、特大の写真でどうぞ。77地区185枚の法被写真が、よりアツい八尾の夏を知らせてくれます。

かえってきたはっぴ展

7.25(金)~8.5(金) 八尾市役所市民ロビー



2000年版から2015年版までズラリ勢揃いの表紙と、2015年版の誌面。イチローが大リーグで1本目のヒットを打つ前から「祭まっぷ」はありました



祭り気分なあの店&最強メニュー

夏祭り、見ることももう一つの楽しみはおいしいもんを食べてみんなで盛り上がること。お祭り的な空気の中で、気分を分かち合いたくなる。そんな店が八尾には、あるんですよ。

取材・文=きむあつこ 写真=内池秀人

ビジュアルと冷たさでいくなら お好み焼き【道草】の かき氷 いちご 400円

レトロな機械で削るかき氷は、口に含むとふんわり溶けて実にやさしい。「お祭りの日は、ほとんどのお客様が注文されるので、フル回転なんです。『ZEPPELIN』という古いかき氷機を大事に使っています」と畠中喜代子さん。シロップは道草のお手製で、甘味がまろやかだ。

- 八尾市恩智中町1-151
恩智駅前ショッピングセンター内
☎072-941-2050 10:00~15:00 木曜休
●恩智祭り 8.1(月)



上／さあ祭りやで～と改札口を出たらここがすぐ右手に 右／ZEPPELINはドイツならぬ大阪製。見るからに年季の入った機械です。前号でお好み焼きページに登場したが、夏はこっち。歓声必至！

お祭り高濃度空間が好きなら 【家族居酒屋 我が家】の 牛ハラミ丼 700円、レモネード 450円

弓削神社の夏祭り関係者が御用達なのこのお店は、法被や祭りの写真が多数飾られていて、好き者にはたまらない。青年団の人気メニューは牛ハラミ丼だ。「甘辛いタレのかかった肉とキムチ、温泉卵をのせているので、ご飯がおいしいですよ。家に帰った気分でくつろいでください」と店主の吉村奈緒子さん。たしかに美味しい。

- 八尾市志紀町2-195-1 ☎072-911-4621
17:00~23:30 日曜休
●弓削神社 7.30(土)・31(日)



奈緒子さんの両側、看板娘の未夢さん(左)、真歩さんがお手伝い。ええ笑顔。店内には法被だけでなく、太鼓台のミニチュアも！

暑い時のスタミナ補給にうれしい牛ハラミ丼は、レモネードとの酸味と一緒に

上原さん(中央)を囲むのは許麻神社青年団の尾西拓磨さん(左)と細川優良さん



青年団の宴会気分を 体感したいなら 居酒屋【ひでほん。】の 焼き鳥 1本100円 フローズン生ビール 390円

海鮮料理と落語会で人気のこは鶴料理も自慢。とくに評判のが炭火の焼き鳥で、平日の午後5時から店頭で焼いている。「ジューシーで香ばしいのが受けています。近くの許麻神社の青年団がよく来られるので、店内が祭りモードになることも」と店主の上原英義さん。フローズン生ビールは夏季限定、以降は地ビールを予定している。

- 八尾市東久宝寺1-5-34
☎072-992-9996 17:00~翌2:00 日曜休
●許麻神社 7.18(祝)・19(火)



祭りとホルモンは何でこう合うのか？

神社境内界隈の雰囲気が好きなら 酒處【大ちゃん】のホルモン焼き 670円

店主の平井雅史さんは渋川神社夏祭りの植松東青年団の元団長。祭り当日は関係者や見物人でごった返しているという。「よく出るメニューがこのホルモン焼きで、ビールもご飯も進むのがいいようです。祭りは見るだけでもエネルギーがりますからね(笑)」と奥さまの友香子さん。店を改装し、この若夫婦にバトンタッチされて7年目。駅近なのに昭和な内装が落ち着く。

- 八尾市植松町2-1-7 ☎072-922-5097
17:30~23:00 日曜休
●渋川神社 7.25(月)・26(火)

上／先代の伯さんと孫の智夏ちゃん 下／息のぴったりな平井さんご夫婦



祭りを堪能した後で、 のんびりゆっくり食べたい時は 浜料理【かつらぎ】の おまかせ 一人前3,000円～

浜から直送の活きのいい魚介類を一番おいしい形で調理してくれるおまかせスタイル。何が出てくるかはその日のお楽しみだ。「夏はみんなで長い時間楽しめるハモ鍋がおすすめ。刺身をつまみながら淡路産の肉厚のハモを堪能してください」とご主人の永野正勝さん。アマチュー野球と祭り大好きの、店主の熱い夏が始まった。

- 八尾市志紀町3-1-7 ☎072-949-2037
17:00~22:00 火曜休
●弓削神社 7.30(土)・31(日)



右／3,000円のおまかせ(写真は3人前)はこれだけ出るんです、はい 下／元高校球児の永野さん(中央)とスタッフの塩田泰輝さん(左)、森中篤さん



脂の乗った太いハモ！メニューにハモ鍋が入る場合は一人前4,000円～

河内音頭に挑戦す！ 益踊り知らずの恩智シスターズ、

取材・文＝大下 藍
写真＝内泄秀人
指導＝山崎美恵鶯（舞民謡協会会長）



山崎先生を挟んで双子の姉の舞（奥）と。脱・難民への60分一本勝負

しかし「他



①先に、「リカワチ！」の動画を見ながら河内音頭を目で学習。ふむふむ <http://www.yaokawa-chiondo.com/rikawachi> ②「手踊り」の「かざし手」、で教育的指導が。まっすぐ伸ばした腕と地面の平行を保つ先生に比べ、私は姉以上に左肘が落ちていた ③それでも、先生の動きを横目に見ながら踊っていると、動作も覚えてきた ④「カシケリ」で華麗に「跳ぶ」山崎先生。「若い人は、こっちのほうが楽しいでしょ。」はい、たしかに

踊れた、わけではないが楽しい！

2016夏 盆踊りスケジュール

※一部P15欄外下に

A young boy in a blue kimono stands in front of a traditional Japanese building with a wooden frame and a tiled roof. He is smiling and holding onto a stone wall. A small green bush is visible in the foreground.

常光寺境内「河内最古の音頭発祥の地」の石碑前で。彼の記憶に残る最初の盆踊りもまた、この歴史ある常光寺の「地蔵盆踊り」。毎年8月23・24日

母によると、僕の河内音頭デビュ－は1歳のとき。母に連れられて行つた盆踊りで、ベビー・カーに乗つたまま足でリズムを取つて喜んでいたと言われています。2歳になるともう「盆踊りに行きたい」と言い出して、踊りの輪に入つてびょんびょん跳ねていましたし、幼稚園に入る頃には見よう見まねで踊りも覚え、家ではおもちゃの太鼓を叩きながら、河内音頭を真似た適当な歌まで歌うようになりました。童謡や音楽はあまり好きではなかつたけど、なぜか河内音頭だけは好きで、他の何よりも興味があつたんです。

そんな僕を見て母は、八尾市の市政によりて見つけた「こども音頭とり講座」を薦めてくれました。「まさか音頭取りをしたいとは言わないだろう」と半ば冗談のつもりだったそうですが、僕はすぐによくやるといふと、講座を受け、櫓(上)がつて歌つてみたいと思つたんです。

カラオケで歌うのは苦手。

後、太鼓がドンドンときたら歌に入るんやで」と、小さなことまで丁寧に教えてくれました。受講中は、もらつたCDに合わせて家でも練習をしました。歌詞を覚えるとCDなしで歌って、おかしなところを直したり、自分なりに「こうしたほうがいい」と思う節回しを試してみたり、とにかく毎日欠かさず歌いました。実は、普通の歌はあまり好きではないし、カラオケも苦手です。学校の友達は「なんか演歌みたいなことしてるの?」と聞いてきたりもします。でも僕は、同じ歌でも音頭取りの歌の方や伴奏によつてどんどん変わる、河内音頭のすごく自由なところが好き。自分の性に合つていなかもしれません。

ヤオマニアの横顔 河内音頭取り **八常大介さん**

「河内音頭は
すごく自由な音楽。
今後はギターも
してみたいです」

伴奏もできる音頭取りに、「ことども音頭とり講座」の受講生のとき、ことども音頭大使として初めて櫻に上がりました。自分の歌でたくさんの人々が踊ってくれるのがすごくうれしかった。

ますます河内音頭が好きになりました。聴かせたいところは語尾を少し伸ばして、ひとりだけ笑つ走らないよう気をつけています。伴奏と息を合わせることがすごく面白いです。

講座を修了してからは、いろんな音頭取りの師匠から「今日はうちで練習会があるから来えへんか」と誘つてもらい、そのたび音頭や太鼓の稽古をつけていただきました。師匠方に「ここはこうしたほうがええで」とアドバイスされたら練習をして直すようにしたり、他の音頭取りの方の舞台を見たりして勉強を続けています。

昨年からは、八常正月師匠の会に参加。太鼓も本格的に習いはじめました。中学では週5日は陸上部で練習、土曜日の午後は稽古に通います。今は、音頭よりも太鼓のほうが面白いですね。音頭取りを経験しているからこそ、太鼓が入るべきタイミングもわかる。太鼓が上達したらギターにも挑戦してみたい。音頭も伴奏もできる音頭取りを目指しています。

はちじゅう・だいすけ
本名は木村大介。2003年生まれ、八尾市立八尾小学校卒業。現在、八尾市立成法中学校1年生。2012年、八尾市主催の「こども音頭とり講座」に参加し、初代・八尾のこども音頭大使として活躍。八尾河内音頭まつり、市内で開かれる定期公演などで音頭を取る。2015年より、八常会に参加。「八常大介」を名乗り、音頭取りと太鼓の両方をこなす。2016年も八尾市内の盆踊りのほか、7.9(土)に開かれる京都・上鳥羽「いきいき夏祭り」などへの出演を予定。櫓・舞台への出演回数はこの夏で100回を超える。

ますます河内音頭が好きになりました。聴かせたいところは譜尾を少し伸ばして、ひとりだけ笑つ走らないように気をつけています。伴奏と息を合わせることがすごく面白いです。

講座を修了してからは、いろんな音頭取りの師匠から「今日はうちで練習会があるから来えへんか」と誘つてもらい、そのたび音頭や太鼓の稽古をつけていただきました。師匠方に「ここはこうしたほうがええで」とアドバイスされたら練習をして直すようになり、他の音頭取りの方の舞台を見たりして勉強を続けています。

昨年からは、八常正月師匠の会に参加。太鼓も本格的に習いはじめました。中学では週5日は陸上部で練習、土曜日の午後は稽古に通います。今は、音頭よりも太鼓のほうが面白いですね。音頭取りを経験しているからこそ、太鼓が入るべきタイミングもわかる。太鼓が上達したらギターにも挑戦してみたい。音頭も伴奏もできる音頭取りを目指しています。

※筆者追記 後日、編集者から「大下さんの小学校、いま河内音頭やってるみたい」と。私が卒業後、1年生が河内音頭を習い、運動会で披露するようになったらしい。知らぬ間に学校が脱・難民していた。小1の頃「とっとこハム太郎」を踊っていたのに……。複雑な気持ちだが、結果オーライ。小学生に負けじと、ひとり音頭の振りを確認するのであった。

お家で作りたい、祭り＆盛夏のごちそう。

八尾では昔から夏祭りにちなんだごちそうを作り、それを家族で食べたり、お客様をもてなしたりしていた。

本誌でもなじみ、郷土料理研究会の堀井美紀子先生が「あなたも作れる祭りの料理」を指南してくれました。

ザ・八尾の夏祭り 定番料理



写真=内池秀人

生節の押し寿司

昔は鮮魚の保存が難しかったので、干物を工夫してこのような祭りのご馳走を作っていました。夏はカツオの旬なので、よい生節が手に入ります。甘辛い味が幅広い年齢に受け付けて、今でも作られるご家庭が結構あります。

作り方（4人分）

- お米2合を炊き、合わせ酢（酢大さじ3、砂糖大さじ1、塩小さじ1、酒小さじ1）でかけて混ぜ、冷ます
- 生節200gは切り身にして、調味料（砂糖大さじ2、醤油大さじ2、酒大さじ1、みりん大さじ1）でゆっくり煮る。身を細かくほぐし、そぼろ状になるまで煮詰める。水溶き片栗粉を少々加えると、崩れにくくなる
- 箱寿司の型（ない場合は、牛乳パックや深皿などで代用）にしす飯を詰め、②をのせて押す。



上／生節を細かくほぐすのがポイント 右／型に少し力を加える堀井先生

海のない八尾のハレの料理



よしんぼ（半夏生団子）

半夏生は夏至から11日目。麦の取り入れ、田植え、1回目の田の草取りなど1年の農作業の半分が終了した頃に、夏祭りが行われます。仕事を休み、家族や近所で団子やタコ（稻が土に吸い付く）などを食べて豊作を祈願し、体を労りました。

作り方

- もち米1kgは前日から洗って水につけておく。水をよく切る
- 小麦粉400gは水650ccを加えながら泡立て器でどろどろの状態に溶く
- ①を蒸し器で強い蒸気で30分蒸し、その上に②を流し入れて20分続けて蒸す
- 先にもち米を取り出していく。塩小さじ1/2と蒸した小麦粉を入れて一緒にまたつく。ボールに取り出し一口くらいに丸める
- 剥いた枝豆150gは軟らかく湯がき、潰して砂糖80g、塩小さじ1/2で味をつけ、あんを作り、④を⑤で和える。きなこ、あずきあんでも良い。

※もち米に同量の水を入れ、ミキサーにかけ、途中小麦粉も振り入れ、どちらのものを電子レンジで加熱。もち状になったら団子にすると簡単です。

昆布巻き

やまねき（山麓）には農業用水の池がたくさんありますが、その水を干したときに捕れる鮎（フナ）やモロコなどの小魚を用いて昆布巻きにしていました。高安では秋祭りを昆布巻き祭りと呼んでいたほど。昔はこれがハレの料理だったのです。今は手に入りやすい海の魚を使って昆布巻きを作ります。

作り方（4人分）

- 煮昆布50gは水で戻して10cmに切り、田作り（カタクチイワシ幼魚の乾燥品）10尾を芯にして昆布で巻く。巻いたらかんぴょう（20cmのもの10本）で結ぶ
- ①を昆布の漬け汁3カップと調味料（砂糖大さじ2、みりん大さじ1、しょうゆ大さじ2、酢少々）で落し蓋をして、汁がなくなるまで煮込む。

取材・文=堀井美紀子
料理製作=堀井美紀子



Yaomania表紙原画展が開催されました！

5.27（金）から6.5（日）までの10日間、西武八尾店5階の特設会場で『須飼秀和 Yaomania原画展』を開催しました。2014年3月に発行した第1号から、5月に出たばかりの第14号までが一堂に飾られ、八尾市内外から多くのYaomaniaファン、須飼秀和ファンが来場しました。「印刷された表紙より、もっと奥行きと深みがある」「生で観ると、色遣いの素晴らしさが際立つ」「近所のあの場所も描いてほしい」などの感想が寄せられ、八尾市観光案内所にはバックナンバーを持って帰りたい人が多数来所していました。今後も須飼秀和さんの表紙は続きます。どうぞ期待ください。

今号の表紙絵執筆で、恩智祭りを取材した作者

枝豆のうれしいお知らせ2題

八尾探「八尾えだまめフェスティバル」

掘り取りの後にすぐ食べる枝豆は甘くてプリプリ、ぜんぜん味が違います。

日時／7.16(土) 定員30名(受付順)

行程／近鉄恩智駅改札前集合(10時)→天王の森→安養寺→大畑山アクトランド(枝豆昼食)→大阪さま屋(和菓子屋)→恩智駅解散(15時)

参加費／1,000円(枝豆お土産付き)、子供500円

申込は電話で八尾市観光協会へ 072-997-6226



どうです。グラマラスでしょ。太陽の下、けっこう重労働だけど後の楽しみがスゴい

第11回八尾バル

「八尾えだまめ」のお題で今回は39店が参加。5枚つづりの前売券も発売中。

日時／7.30(土)

場所／近鉄八尾駅・

河内山本駅・

JR八尾駅周辺の飲食店

お問い合わせ・予約は

<http://yaobar.net/>



表紙「恩智の祭」

ふだんは静かで、懐かしい家並みが残る恩智のまちは、夏祭りを迎えるとの姿が一変します。昼から夜更けまで一日中続くお祭りは、布団太鼓や神輿を担ぐ、男たちの気持ちを昂らせます。夕方、天王の森から恩智神社までの参道を上がっていく姿を見ようと沢山の人が集まり、見物客にお茶やビールを接待してくれるお家までありました。見る場所を決め、頂いたビールで暫しの休憩。目の前を通る男たちの法被が、誇らしく揺れています。

すがいひでかず 1977年明石市出身。日本の原風景や人びとの営みに映る郷愁をテーマに描く。著書に『私だけのふるさと』(岩波書店)、『うなぎのうーちゃんひばうけん』(福音館書店)等。毎日新聞朝刊(兵庫版)にも連載。P15も必見。



●Yaomania第16号は9月中旬発行

ザ・お地蔵さんツアーア

発行=一般社団法人八尾市観光協会

編集=株式会社140B 表紙絵=須飼秀和

デザイン=山崎慎太郎 印刷=図書印刷株式会社

※記事の情報は、2016年6月17日時点のものです。

※盆踊り追加情報 ●8.7(日) 太陽の広場ふれあいまつり(盆踊り大会) 18:00～21:30 太陽の広場

●9.17(土) 第11回ヤンレー節河内音頭奉納盆踊り大会 19:00～21:30 渋川神社